

——適切な接し方・教え方を求めて——

「なんとかしたい」という親の気持ち。 子ども自身はどう応え、努力したか？

セミナー [教育を軸に子どもの成長を考えるフォーラム]

第 38 回

「障がい者支援事業助成」(一般財団法人 あすたむ舎) 事業

「発達障害／発達の遅れ」を抱える子どもへの対処法に関して、一番大切にもかかわらず専門家からあまり取り上げられないテーマ……それは「教育・学習によって子どもの成長を促す」視点と具体的な取り組みではないでしょうか。「特別な子どもだから仕方がない」「子どものやりたいところから始めよう」「無理はさせない」「様子をみよう」という、強い固定観念が妨げになっているようです。その壁を打ち破るのは生きた事例だと考えます。

第38回の講師は3名。保護者の南條美樹 (miki) さんは、幼児期に「自閉症スペクトラム」と診断された長男の子育てを経験。「学校が好きな子ども」へ育て上げた経緯、特に家庭学習の工夫と苦勞、学校の先生方との信頼関係、そして家族の協力などについて話を伺います。

また、幼児期に言葉の遅れ、多動、かんしゃく、偏食などがあり、「自閉症・ADHD」と診断された春野稔さんの成長について、指導に携わったエルベテークの河野俊一さんと本人と一緒に振り返り、「発達の遅れ」をもつ子どもへの効果的な接し方・教え方のポイントを皆さんと共有したいと思います。

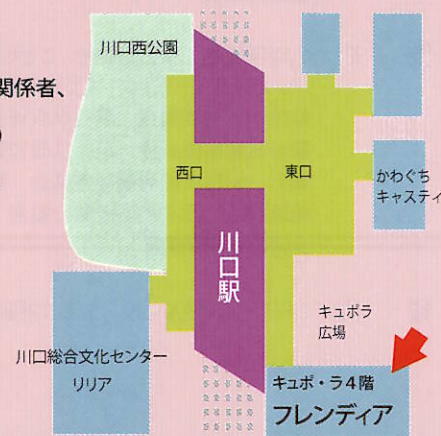
開催日時／ 2025年2月8日(土) 9:45～11:45
(受付開始 9:30～)

会場／川口駅前市民ホール フレンディア
埼玉県川口市川口 1-1-1 キュボ・ラ4階 電話 048-227-7603
JR川口駅東口すぐ

プログラム／ [[はじめに] 9:45
[座談会形式のシンポジウム] 9:50～11:15
[まとめ] 11:15～11:30
[質疑応答] 11:30～11:45
[おわりに] 11:45

定員／ 70名
(対象＝保護者、学校関係者、
保育・福祉関係者など)

参加費／ 1,500円 (資料代等)



座談会形式のシンポジウムでは……

- 幼児期にどんなことに困り、どのような気持ちでどのように対処したか？
- 「発達の遅れ」を抱える子どもの成長と親の役割は？
- いまは社会人となった子ども自身の振り返り、家庭学習の進め方、家族の協力、学校との連携についてなどを討議します

パネリスト

南條美樹 さん

保護者 / 一般社団法人チャレンジドLIFE 副代表

大学(発達心理学専攻)卒業後、計測機器メーカーに勤務していた2008年に長男(3歳上に長女)を出産。1年間育児を経て仕事復帰する予定にも関わらず、長男に発達の遅れがあり(その後、「自閉症スペクトラム」の診断)、在宅勤務をメインにした生活へ。家族のサポートを受けながら子育てを続け、長男は小学校(通常学級)入学。中学受験・高校受験を経て、現在、全日制普通科の高校1年生。「社会に出て大きく困らない力」を身につけさせるために家庭学習に力を注いでいる。著書に『無理なくできる! 発達障害の子が伸びるいちにちいっぽの育て方』(学研プラス)。ブログでの発信やテレビ番組の出演・監修も。

パネリスト

春野 稔 さん

社会人 / 幼児期に「自閉症・ADHD」と診断

幼児期に「自閉症・ADHD」の診断を受ける。言葉の遅れや強いこだわり・偏食があり、また多動でピョンピョン跳んだりしたほか、覚えることも苦手だった。年中(5歳)の3月から小学6年生までエルベテークで学習を積み重ね、大きく成長。親が教室での指導のやり方と同じように接し、教え続けた。そして、高校・大学を経て就職し、社会人6年目。一般企業で3年半営業を経験したあと、「子どもの教育の仕事をしたい」「困っている子どもたちの手助けになれば」との思いでエルベテークに入社。後輩の子どもたちの指導に邁進している。親から大きな信頼を得て、効果的な指導を目指して奮闘中。

コーディネーター

河野俊一 さん

エルベテーク代表 医療法人エルベ理事

1995年、民間の教育機関エルベテーク設立。発達の遅れと課題をもつ子どものためのコースも開設し、現在に至る(川口/大阪/アメリカ)。30年間の豊富な指導実績と実例をもつ。当セミナーではのべ40以上の実例を保護者とともに紹介。「学校は子どもにとって大切な学びの場である」との視点に立ち、親子が学校と連携してより良い関係を築けるように導いている。著書に『発達障害の「教える難しさ」を乗り越える』『自閉症児の学ぶ力をひきだす』(いずれも日本評論社)、『誤解だらけの「発達障害」』『子どもの困った! 行動がみるみる直るゴールデンルール』(いずれも新潮社)など。

お申込み / 事前申し込み制(定員になり次第、締め切らせていただきます)

▶ 当NPO法人のHPにアクセスいただき「申し込み専用フォーム」からお申し込みください。

教育を軸に

Q 検索

▶ お電話 (080-8726-1000) でも受け付けております。
▶ FAX でのお申し込みは「2月8日セミナー参加希望」と明記の上、お名前・ご住所・ご連絡先を添えて、048-837-6926 宛て FAX 願います。

* 感染防止対策にご協力ください

主 催 / 特定非営利活動法人 Education in Ourselves

教育を軸に子どもの成長を考えるフォーラム

〒336-0026 さいたま市南区辻 5-6-12-408

東京事務所 〒151-0053 東京都渋谷区代々木 2-36-10 アドウェル代々木 103



ホームページの QR コードです

後 援 / 文部科学省 厚生労働省 こども家庭庁 内閣府 埼玉県

さいたま市 川口市 埼玉県教育委員会 千葉県教育委員会

草加市教育委員会 越谷市教育委員会 北区教育委員会

豊島区教育委員会 足立区教育委員会 埼玉県社会福祉協

議会 川口市社会福祉協議会 埼玉県小児科医会 埼玉県

看護協会 日本言語聴覚士協会 全日本私立幼稚園連合会

全国私立保育連盟

協 力 / NPO 法人ともくん家 (生活介護事業所 もんきいぽっど)

このセミナーから生まれた出版物です。

書店やオンライン書店で買い求めください。

親が語る、「発達の遅れ」が気になる子どもの教え方 ①

これまでセミナーで報告された対談形式の実例の中から 7 回分をピックアップし、1冊の本にまとめました。

発行=当NPO法人 / 定価1,650円(税込)



『力をひきだす、学びかたドリル「書く」からはじめる』シリーズ (全4巻)

① せん、すうじ・かず

「書く」と学び方にこだわった学習ドリル。



② 10までのたしざん・ひきざん

「たして10になる数」とたしざんの基本的な組み合わせを九九のように覚える学習ドリル。



③ くりあがり・くりさがり

「10になる数」と「10までのたしざん・ひきざん」ができる子どもへ、より効果的な学び方を提案する学習ドリル。



④ とけい、かたち

近日発売

ドリルは各巻/定価1,100円(税込) 監修=河野俊一 発行=当NPO法人